

令和4年度 大阪府立狭山高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

令和5年2月27日 本校会議室にて開催

・学校協議会委員

湯峯 裕	桃山学院教育大学 教授
槇野 敏之	大阪狭山市立第三中学校 校長
染川 佳紀	立志館ゼミナール
小松 茂美	大阪狭山市立公民館
トランティ美佳	大阪府国際交流財団
二宮 千恵	狭山高校 PTA 会長(欠席) (敬称略・順不同)

・学校側出席者

山田 達也(校長)	井迫洋一郎(教頭)	野中 輝己(事務長)
池田 輝政(首席兼3年学年主任)	大西 弘記(首席)	
小林 友宏(2年学年主任)	浦上武次郎(1年学年主任)	
岡本 宏之(教務部部长)	影山 孝雄(進路指導部部长)	
松村 毅(生徒指導部部长)	古川 尚幸(生徒会部部长)	
船坂 寛之(保健部部长)	磯田 圭子(人権教育推進委員長)	

(学校教育自己診断結果について) 首席より説明後、質疑応答

・今年の生徒のアンケート結果について、ほぼ全ての項目が上昇している要因は何か。[委員]

→多様な要因があると考えられるため調査をすすめる。[学校出席者]

・主体的対話的な深い学びについての意見、中学校ではお膳立てが必要。生徒が成功体験を得ることで主体的に学ぶようになる。[委員]

→高校でも中学校を参考に進めていきたい。[学校出席者]

・学校の施設設備について否定的な意見がみられる。[委員]

→プロジェクター等授業機器やトイレの老朽化が課題だが、リーディングGIGAハイスクール研究校に選ばれ、普通教室のプロジェクター等は一新され、トイレの改修についても順次おこなっている。[学校出席者]

・地域連携についての意見、子ども祭りに狭山高校生が参加し、創意工夫が素晴らしいと感じた。[委員]

・海外交流についての意見、地域交流含め普段接することのない人たちとの交流や体験が大事なのでぜひ進めてほしい[委員]

(令和5年度計画について)

・リーディング GIGA ハイスクール指定校認定について説明

→普通教室全てのプロジェクターと黒板を入れ替えが終了、遠隔地の生徒への授業配信も現在100%実施できている、一人一台端末の活用も多くの先生が実践している。[学校出席者]

→3年間研修や公開授業を実施し授業力の向上と生徒の主体的対話的学びを進めていく。
[学校出席者]

→ただプロジェクターで資料を投影するのみでは授業として進歩がない。生徒の端末との連携を含め、対面授業ではできない良さを出していくことが重要である。[委員]

・国際交流についての意見、コロナも落ち着き、韓国へのスタディツアーも再開した。形だけでなく生徒が将来につながる体験をすすめてほしい。[委員]